

私の思い出写真館

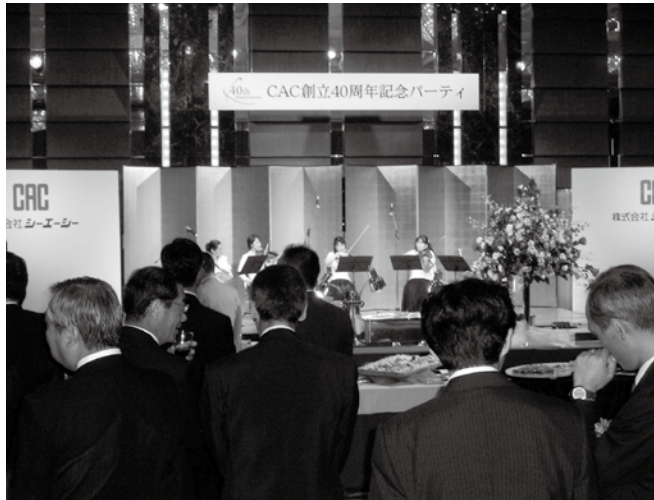
## 創立50年を 前にして



**島田 俊夫**  
シーエーシー  
取締役会長

2006年9月21日、当社創立40周年を記念し、顧客企業の皆さまをお招きしてパーティを開催した際の一コマ。大手製薬会社、大手飲料会社、大手出版・情報サービス会社、メガバンク、大手信託銀行などから大勢の役員・幹部の皆さまがお見えになり、社長として壇上で挨拶する私の胸には、これほどの方々の信を得ているという高揚感、それ以上にこうした日本を代表する企業の事業を支えている責任感、また、ここに至る道のりの礎を築いた先達への尊敬の念など、さまざまな思いが去来した。

この行事からさかのぼること40年、1966年に、わが社は日本初の独立系ソフトウェア専門企業として設立された。創業期の先達は、日本ではソフトウェア産業自体が市民権を得ていない中で道なき道を切り開いた。企業向け情報システ



2006年9月21日 創立40周年記念パーティの様子

ムの企画・開発・運用を事業の中心に据え、米英中印に海外拠点を展開、現在はグループで2,200人ほどの陣容となった。独立系ITサービス企業にはオーナーカンパニーが多く、私もよく二代目経営者と間違われるが、当社は1999年の株式公開後、創業者も引退し、オーナーのいないパブリックカンパニーとなっている。

当社は「ユーザーと直接取引をしなければ技術者は育たないし、良いサービスも提供できない」という創業精神を貫いてきた。その結果、規模は中堅ながら、元請け比率が95%以上あり、業界でも異色の存在だと自負している。周年行事のご来賓に<sup>そうそう</sup>錚々たる方々をお迎えできたのも、二次請けでなく、直接お取引いただければこそであった。

今は規模が序列に見える時代だが、サービスの質は規模に比例しないという思想のもと、M&Aエージェントの<sup>がつしやうれんこう</sup>合従連衡話とは一線を画したのが、2010年末まで約7年間、社長を務めた私のスタンスだった。

世間的には無名企業だが、経済同友会など対外活動の際に当社の成り立ちを紹介すると、皆さん、一様に驚かれる。それほどの歴史を背負っていると思うたび、身が引き締まる。